

報道関係 各位

2021年10月31日
株式会社日本レースプロモーション

10月31日(日)
2021年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第7戦 第20回 JAF 鈴鹿グランプリ
決勝速報

福住 仁嶺が今季2勝目で有終の美を飾る！
カーエネクス チーム インパルがチームタイトルに輝く！

国内レースの最高峰、2021年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第7戦 第20回 JAF 鈴鹿グランプリの決勝レースが10月31日(日)、三重県鈴鹿サーキットで行われ、福住 仁嶺(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)が今季2勝目で有終の美を飾った。

午前中に降った雨も昼頃には止み、ドライコンディションで迎えると思われた決勝レース。直前になって小雨が落ちる不安定な天候となった午後2時、ポール・ポジションの松下 信治(ビーマックス レーシングチーム)を先頭に、最終戦のフォーメーションラップが開始された。

スタートを見事に決めトップを守った松下だったが、5周目に入ったところでドライブスルーペナルティが提示される。これは反則スタートによるもので、ここで事実上松下の初優勝は無くなり、変わってトップに立ったのは5番手スタートの野尻 智紀(チーム・ムゲン)。しかし、13周目のタイヤ交換後のアウトラップで、福住 仁嶺(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)がトップを奪取。その後、オーバーテイクの機会を狙う平川 亮(カーエネクス チーム インパル)のプレッシャーを見事に跳ね除け今季2勝目で有終の美を飾った。2位には平川、3位には野尻が入った。

この結果、シリーズドライバーズランキングは、1位 野尻、2位 福住、3位 関口となった。
ルーキー・オブ・ザ・イヤーは、第6戦で初優勝を飾った大津 弘樹(レッドブル ムゲン チームゴウ)が獲得。
チームタイトルは接戦の末、カーエネクス チーム インパルが獲得した。

12月7日(火)からの3日間、来季に向けた合同テスト&ルーキードライバーテストが、鈴鹿サーキットで行われる。
*記録の詳細は、公式ウェブサイトでご確認ください。



今季2勝目で有終の美を飾った福住 仁嶺